

令和4年度まちかどミーティング会議録

開催日 令和4年8月25日（木）

地 区 弥生町地区

会 場 第七区総合福祉会館

<意見交換>

◆市民 矢代町内会の■■■と申します。

西小学校、ここ真っすぐ行ったところの西小学校の土手側のところ、車道と歩道の間の草丈が相当伸びているんですが、去年も刈ってもらえなかったというか、そのままだったんですけどね。今年は特に種も増えたということで、去年以上に草が大きく生えています。その草刈りが今後していただけるのかどうかと。あと、弥生郵便局ですね、過ぎてすぐ左に曲がると、道路があって、その両サイドの木が生い茂って、かなり車道に垂れ下がってる木が最近ちょっと気になるんですけども、そここのところの2点の今後の対策をお願いいたします。

○司会 ただいま草刈りについてのご意見、ご質問と、木が茂っている、車道のほうに伸びているということでのご質問ございましたので、回答お願いいたします。

◎維持課副主幹 都市建設部維持課の菅野といいます。初めてのご要望ということなので、市内全体の、実施の前のほうから、後ろのほうからというふうには草が出てますので、現地を確認しまして適切に対応するようにいたしますので、後ほど詳細な場所を教えていただければと思いますので、よろしく申し上げます。

◎緑地公園課長 失礼いたします。緑地公園課の成田と申します。よろしく申し上げます。

先ほどお話いただきました弥生郵便局の曲がったところの緑地帯の草刈りにつきましては、現地を確認させていただきまして、今ちょっと記憶でいつやったかって、記憶、今してないものですから。

◆市民 木の生い茂ったところ。

◎緑地公園課長 木のほうですか。木の剪定につきましても現地のほう確認いたしまして、必要な措置を今後検討していきたいと考えてございますので、よろしく申し上げます。

○司会 よろしいでしょうか。

◆市民 はい。

○司会 それでは、ほかにどなたかいらっしゃいませんか。はい、今マイクをお持ちいたします。

◆市民 矢代町内会の■■■といいます。いつもお世話になっております。

平成28年の7月に、矢代町内会、弥生連合会、七区親交会で三条通、今のマックスバリュですとか、あそこのマクドナルド、これの三条通、信号機と信号機の間が大体500メートルあります。それで、そこに、中間に手押し信号をつけてくださいという要望を出しております。それで、一度進捗状況について市のほうにお聞きしたんですけども、なかなか進捗状況が思わしくない

ということで、今回、手押し信号の要望について、どのような進捗状況になっているかということ。それと、手押し信号ができない場合の何か対策があるのかということ。もう一つ、信号機と手押し信号機の前が自動で信号を設置してところがたしかあったと思うんだ。そういう方法でできないかどうか、ちょっとご説明いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

○司会 ありがとうございます。ただいま手押し信号の要望についての進捗状況とそのほかの対策等についてのご意見、ご質問をいただきましたので、回答をお願いいたします。

◎市民生活課課長 市民生活課の課長の畑島と申します。以前からいただいております、マックスバリュ付近から三条通にかける信号機の設置ということなんですけれども、毎年、苫小牧市のほうから警察署に対しまして信号機の設置、標識、横断歩道の設置等につきまして要望書のほうを提出をさせていただいております。その中で、手押し信号機ということで当初ご要望はいただいておりますけれども、苫小牧警察署のほうからは、手押し信号機よりもプログラム信号機のほうが望ましいということのご意見をいただきながら、北海道警察に、公安委員会のほうに要望の形を出させていただいてるところでございます。現在、苫小牧市の要望の中としては、信号機、横断歩道等の設置の中では最重点の要望項目として取り上げさせていただいております。

しかしながら、昨年の警察署、公安委員会からの回答につきましては、なかなか道内全部の地域の中で信号機の設置の数が20台前後ということで厳しい状況の中で進めているという回答をいただいております。回答の内容としては、昨年、一昨年とちょっと進展がないところでございます。ただ、地域から長年、ここ数年、特に強い要望としていただいておりますので、継続の内容としては、引き続き継続をさせていただきながら、警察署との連携を、情報交換をしながら、また引き続き実現に向けて進めてまいりたいと思っております。

また、その間はほかの対策が取れないかということなんですけれども、やはり規制等の対象というところもございまして、ほかの部分の内容が取れるかどうかも含めまして、引き続き警察署のほうとも意見交換をしながら、何か対策が考えられないかということも並行して進めさせていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

○司会 よろしいでしょうか。

◆市民 あそこは結構あれなんですよ、あそこは年寄りの方が随分渡ってるんです。だから、結局500メートルぐらい間隔があるもんですから、まずそこが信号になると、渡れるしということで、なお一層、実現に向けて市のほうの努力をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

○司会 ありがとうございます。

◆市民 可能性はあるんですか。今のところ、可能性はあるんですか。

◎市民生活課課長 警察、公安委員会の反応といたしましては、やはり要望は地域からいただいていることに関して、全くできないということであれば、できませんということの回答はいただきますので、そういった意味では、可能性としてゼロという回答ではございませんが、しかしながら道内全域の中の要望の中で信号機の設置というのが先ほど申し上げた二十数台程度という中で毎年行っているというふうに向っておりますので、その要望の度合いというのがどの段階でいただけ

るかというのちょっと公安委員会のほうもなかなか即答ができないというふうにお話はお聞きしております。また、先ほどございました高齢者の方がちょっと横断するということも、これまでも地域のほうからもお声いただいているところもございますので、引き続き注意喚起か何か、標示等を含めて、先ほど安全対策というところと絡めまして、苫小牧警察署のほうともちょっと情報交換しながら対策、また考えてみたいと思いますので、お願いいたします。

○司会 それでは、ほかにどなたかいらっしゃいますでしょうか。

◆市民 すみません、もう1点いいですか。

○司会 ほかにもしいらっしゃらなければ。ほかにどなたかいらっしゃいませんでしょうか。もしなければ、またどうぞ。今マイクをお持ちいたします。

◆市民 すみません、矢代町内会の■■■■です。

先ほどのハザードマップのところなんですが、我が家は西小学校に避難場所となっております。以前、学校の鍵は地域に持っている方がいらっしゃると聞いたんですが、果たしてそれが何個なのか、もし1個であれば、その人がもしいないとか、そういうふうにした場合に避難というのはもちろんできないんですけども、西小に限らず、ほかの学校の避難所の鍵は地域に何個設置しているのかちょっと聞きたかったんです。

○司会 ありがとうございます。避難所の鍵、何個ずつあるのかということでご質問いただきましたので、回答お願いいたします。

◎危機管理室長 防災を担当しております危機管理室、前田です。今苫小牧市での指定避難所ですね、鍵のお話ございましたけども、まずは、小・中学校ということで、小・中学校については、市役所の職員を夜間ですとか、そういうときの対応できるように、各学校で3人配置しています。その3人のうち2人が鍵を持っています。ですので、1人がもし何か用事があって開けれないと、もう一人の人がフォローするように、その辺を連携して対応するようにしています。各学校で鍵は2つ持っているということなんです。ただ、道立高校、高校についてはちょっと鍵をちょっとお借りすることができませんので、小・中学校に限っては鍵は2個、夜間でも開けられる鍵を作っているところです。以上です。

◆市民 土日も、じゃあ同じなんですか。

◎危機管理室長 はい。夜間、休日のための、日中は学校開いていますので、夜間、休日のための指定職員ということで各学校に3名。そのうち2名が鍵を持っているという仕組みです。

○司会 よろしいでしょうか。

◆市民 はい。

○司会 ほかにどなたかいらっしゃいますでしょうか。どなたかいらっしゃいませんでしょうか。まだお時間少し早いのですが。

◆市民 そうしたら、俺が。

○司会 はい、お願いします。

◆市民 元町に住んでる■■■■といます。

街灯の件なんです、街灯。町内会で半分負担するという、補助した場合、出た場合、その半分の話なんです、なぜ町内会が半分負担しなきゃならないのかと。入ってない人もかなりいるもんですから、それは大変何か不公平なような気もするんです。電気代についてはこっち側の立替えによってバックしているというのよく分かるんですけども、修理に対する半分負担するのはちょっと理解に苦しむんで、その辺をお教えいただきたい。

○司会 ただいま街灯の負担についてのご質問いただきましたので、回答のほうお願いいたします。

◎市民生活課課長 市民生活課の畑島でございます。地域に設置をしております防犯灯の負担の話かと思えます。もともと地域に設置させていただいてる防犯灯につきましては、行政と地域のほうで負担応分の中で設置をさせていただくということで古くから行われているというふうに私のほうも伺っております。一時期、今より少し前のLED灯が普及する前につきましては、その負担を、設置する際の負担割合といたしましては、市、地域2分の1ずつのご負担ということで設置をさせていただいておりましたが、最近ではLED灯の設置というのが少し高額になっているということもありますので、その負担割合を10%引き上げさせていただきまして、市が5分の3の負担をしているというのが今現状ではございます。しかしながら、古くから行政と地域の負担応分の中で設置を進めさせていただいているというところで、それを今も継続させていただいているという認識でございますので、負担応分の割合の部分はそういった実情に応じてLED化のときにも見直しをさせていただいております。今後、市で設置した10年後の更新ということも後に控えておりますので、ここの部分はこのエリアだけでなく、市全域の地域の中でまたいろいろと意見交換をさせていただくことになろうかと思っておりますので、よろしくお願いたします。

◆市民 いや、それは昔からのことでよく分かるんですが、最近、町内会も人が減って大変になっておりまして、負担するのが大変なんです。今はいいですよ、入金してくださいと言われれば何とかできるけど。これが故障なり出てくると、なぜ入ってない人の分まで負担しなきゃならないのかと。ここが問題なんです。その辺はどう考えてるのかなと。

○司会 回答をお願いいたします。

◎市民生活課課長 引き続き私のほうからお答えをさせていただきます。今お話ございましたとおり、年々町内会の加入率というのが減少傾向にございます。今年度でいきますと5割ちょっとというところで、52%程度というところで、非常に加入率というのが10年ほど前と比べても大きく減少している状況でございます。特に一軒家ではなく、賃貸のアパートとかにお住まいの方の加入割合が非常に低くなっているという傾向もございしますが、全体的に加入率の低下というのがここ数年の大きな課題ともなっておりますので、これは地域だけの問題というわけではなくて、市のほうの取り組み方も、やり方を少し考えていかなければならないと思っておりますので、ほかの皆さん方のご意見もいただきながら、何かその加入率の上昇につながる取組というのを少し進めていかなければならないというふうには感じております。

◆市民 分かりました。

○司会 それでは、ほかにどなたかいらっしゃいますでしょうか。それでは、ないようでしたら、少し

お時間早いんですけど、終了してもよろしいでしょうか。それでは、本日のまちかどミーティング終了させていただきます。最後に、本日のまちかどミーティングの終了に当たり、岩倉市長よりご挨拶させていただきます。

◎市長 いろいろご指摘等々いただきました。信号機の問題なんですけど、これは毎年のようにいただくことです。年に一度、私も苫小牧警察署、あるいは北海道警察本部に信号機、あるいは交番設置等々の要望には必ず年に一度行かせていただくようにしています。その中で、要望書の中で、幾つか信号機の問題もあるんですけど、やっぱり道の財政事情等々もありまして、先ほども説明にありましたけども、年間恐らく100か所以上の信号機設置要望が、もっとあるのかな、ある中で、本当に僅かしかついていないというのが実態にあります。ですから、我々としては粘り強く、苦警、そして道警に設置要望をしていくということしかないんですね。市が金出すからつけてくれとって、つけてくれるならいいんですけど、それは今規定上できないことになっています。これ、交番もそうなんですね。ただ、交番の場合は、土地だけは市で用意した土地を使って造る場合もありますが、建物も市が出すから造ってくれとって駄目なんですね。そういう規定に基づいてやっていますので、何とも言えないんですけども、ただ粘り強く要望を重ねていく以外にありません。ただ、その結果、信号機設置したところも市内にもありますので、引き続き要望を続けていきたいというふうに思っておりますので、ご理解をいただきたいというふうに思います。最後になりますが、コロナがなかなか落ち着く状況にはありません。やっぱり市中感染が多いので、今日から小・中学校が始まっております。当面は子供たちの感染状況を注視しなければなりません。現状はやはり気になるのは医療機関、そして高齢者福祉施設でも感染拡大が少し目立っておりますので、一人一人注意していただく。

ただ、市立病院の感染症病床の病床使用率はまだ苫小牧の場合には余裕があります。軽症患者さんが多いので入院期間もそんなに長くはない、ECMOを使っている患者さんは今一人もいない状況でありますので、これ以上長引かないように、何とか一日も早くピークアウトしてほしいなと思っておりますが、市としては、引き続き3つの重点軸、1つは感染拡大防止、2つ目に地域経済対策、そして3つ目に市民の皆さんの健やかな日々という重点軸を基に、これからも引き続きコロナ対策に励んでまいりたいというふうに考えておりますので、ご理解をいただきたいと思っております。今日は若干まだ35分ぐらいあるんですけど、今日、実は木村副市長が初めてまちかどミーティングに登場して、今日1回も発言してませんので、最後に、市長に代わって、お礼のご挨拶を木村副市長からしますので、2分程度でお願いします。

◎副市長 それでは、市長からのむちゃ振りもありましたので、私から締めのご挨拶をさせていただきます。私もまちかどミーティング、何年もあちらの席で出席をさせていただきました。なかなか皆さんからのご要望に応えられる部分、それからなかなか応えられない部分であろうかと思っておりますけども、そういう意見に真摯に耳を傾けて、できるところはすぐやる、できないところでもどうやったらできるか考える、本当にできないところはしっかりと説明をするということで、皆さんの考え方に寄り添った中でいろんな市政を続けていきたいと思っております。

今日もいろいろとご意見いただきました。その意見、各現場でしっかりと検討した中で、来年に向けて歩みを進めてまいりたいと思っておりますので、今後ともご理解、ご支援、よろしくお願いたします。こんなものでよろしいでしょうか。

◎市長 はい。

◎副市長 どうも、本日はありがとうございました。

○司会 以上をもちまして、まちかどミーティングを閉会いたします。ご帰宅後には、手洗い、うがい等を徹底していただきますようお願いいたします。本日は誠にありがとうございました。